

はじめに

「食」は私たちが生きていくために欠かせない大切なものです。そして、健全な食生活を実践していくことは、食の楽しみや心の豊かさを育み、心身の健康の維持増進に欠かせないものです。

益田市では平成 21 年に「益田市食育推進計画」を策定し、令和 5 年度で第 3 次計画が終了することから、これまでの成果と課題を踏まえ更なる食育の推進を図るため、今後 6 年間の指針となる「第 4 次益田市食育推進計画」を策定いたしました。3 次計画では「生涯にわたる人々や自然とのつながりの中で「食」を知り、感じ、育む～「おいしい益田」で心をつなぐ～」を基本理念に人と人とのつながりや自然環境に恵まれた中で食育に取り組んでまいりました。朝食喫食率や食品ロスに対する意識など改善傾向にあるものもありますが、生活習慣病の予防や行事食・伝統料理の継承、若い世代の食育への関心の低さなどまだまだ解決すべき課題もあります。



また、新型コロナウイルス感染症の流行により、食育活動は大きな制限を受け、活動を中止せざるを得ないこともありました。しかしながら、インターネット等の活用など新たな方法を模索しながら様々な手法で食育の推進に取り組んでまいりました。今後も子どもから高齢者まで、ライフステージやライフスタイル、多様な暮らしに対応し、SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という視点をもった食育を推進します。

食育推進のためには、市民の皆様をはじめ、関係団体や機関等と一緒に連携・協働しながら取り組む姿勢が重要と考えております。今後とも本計画の推進に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の改定にあたりご審議をいただきました益田市食育推進会議委員の皆様、アンケートやパブリックコメント等を通じて貴重なご意見をお寄せいただいた市民の皆様、食育に関わる団体・事業者の皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

令和 6 年 3 月

益田市長 山本 浩章